

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2016年 8月

【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚絅学院大 河北仙阪
 【エリア】名取市内
 【部数】11,600部
 【電話】022(266)2991

昔ながらの生活を体験

洞口家住宅 いぐねの学校開催

環境学習の体験イベント「いぐねの学校」が7月31日、名取市の洞口家住宅で開かれ、名取市内外の小学生44名が参加しました。

今年で16回目を迎える本イベントは宮城教育大学の小金澤研究室「仙台いぐね研究会」が主催。名取市や仙台市の小学生らが国の重要文化財でもある洞口家住宅を使い、昔の生活を体験することで自然環境と人間の暮らしとのつながりを体験し、学ぶことを目的にしています。



蒸しかまどで、ご飯を炊きました

子どもたちは、田んぼの暮らしとのつながりを体験し、学ぶことを目的にしています。



生き物調査

仙台いぐね研究会の梅津登伍(とうご)さんは、「今回子どもたちが主体となり、楽しみながら学ぶ姿が印象的だった」と話します。秋には米の収穫を体験する「秋のいぐねの学校」が開かれる予定です。

(阿部杏圭)



餅つき体験

リカレンジャー登場！ 親子がダイキャンプと科学実験満喫

那智が丘

ダイキャンプ&親子実験教室が8月5日、那智が丘小学校で開催されました。イベントには那智が丘小の生徒と保護者が参加、暑い中カレーライス作りやジャガイモ掘りなどで、キャンプを楽しみました。

親子実験教室には、仙台高専名取の先生と学生6人が移動実験車「リカレンジャー」と登場。科学実験の面白さを広める活動を各地で開いている学生らは、ドライアイスを使ってアイスを一瞬で作る方法や、液体窒素で葉っぱやテニスボールなどを凍らせたり、ドライアイスに圧力を加えると個体が一瞬で液体になる実



ジャガイモ掘りを体験しました

験を披露、参加した親子もグループに分かれ学生らの指導の下、実験を楽しみました。参加した保護者は、「昨年も参加したが、昨年とはまた違う楽しさがあった。親子も子供も楽しめた。また来年も参加したい」と話していました。



ドライアイスを使った実験をする小山さん

今回の実験教室について仙台高専5年生の小山竜平さん(20)は、「全体的に参加してくれた児童の年齢が低く、危険な物質を使うので、けがなど心配したが、大きな事故もなく、元気に参加してくれたことが一番良かった」と話しました。リカレンジャーは、8月25日に松島児童館で移動実験教室を開催する予定です。また、10月に行われる仙台高専名取の高専祭でも実験教室が開催されます。

(青田汐里)

地域をつなぐ子ども祭り

増田西

郷土愛を高め、ぬくもりのある地域の発展と伝統作りの心を育てることを目的としたイベント、第32回子ども祭りが7月30日に開催され、生徒ら約740名が参加しました。30年以上の歴史を持つ本イベントは、増田西地区子ども会育成会が主催。

手倉田地区の農村地帯で地区行事がなかったというこの地域で子どもたちと住民との交流を設けるために始まったのがきっかけです。子ども祭りの会場となった増田西小学校では当日、増田西婦人会や交通安全母の会、増田西青少年健全育成会、増田西小学校親の会によるブースが多数出展されました。

毎年大盛況となるお菓子販売コーナーでは、30分待ちの長蛇の列ができました。



みんな手品に夢中、次は何か？

また、今年初出展となる名取昔ばなし語りの会では、ユーモアあふれる手品や子ども向けの昔話が披露され、子どもたちからは大きな歓声が上がりました。



大盛況のお菓子販売コーナー



代表の布田直子さん(72)は、「地域の子どもたちと交流する機会がない中、こうして多くの子どもたちと触れ合えることが新鮮」と笑顔で話しました。育成会会長の今野幸信さん(58)は、「若い世代が地域に定着し、さらに魅力あふれる増田西になることが楽しみ。ふるさとの記憶として残る行事になればいい」と話しました。(阿部杏圭)

増田川学び交流深める 増田川フォーラム

地域の資源である増田川

についての理解を深め、地域力向上へつなげるイベント「キラキラパルク増田西フォーラム」(主催・増田西公民館・キラキラパルク増田西)が7月17日、名取市増田西公民館で開催されました。



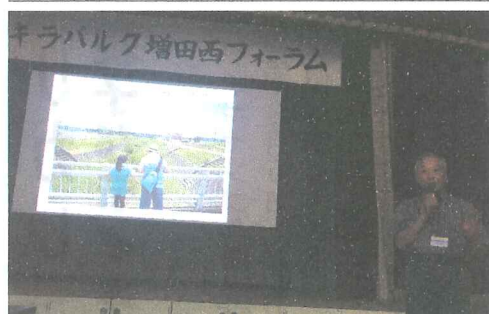
当日はたくさんの方々が集まりました

地域の自然への関心や地元への愛着心を高め、住民同士の相互交流を図ることを目的に開催された同イベントには、市民65名が参加増田川を利用した環境活動に取り組み大橋信彦さん(72)、斎藤忠雄さん(76)2名が講師となり、活動内容の報告を行いました。大橋さんは地域の特性を生かした活動「増田川で遊ぶ」を発表、森林インストラクターの斎藤さんから増田川の保全や生態系パランスについて報告があり

ました。

イベントは質疑応答の時間や感想を共有する時間が設けられるなど、終始和やかな雰囲気で行われました。

学生スタッフとして参加した、尚綱学院大学の齋藤綾香さん(21)は「貴重な交流の場に参加することができてよかった。専攻している地域コミュニケーション学に生かしたい」と述べました。また、キラキラパルク増田西代表の伊藤宗男さん(69)は「千差万別、様々な仕事、趣味を持つ人たちが集まっていることがキラキラパルク増田西の強み。目標である『ともに学び、ともに認め合い、笑顔あふれる楽しい地域』を目指し、地域力向上に努めたい」と力強く話しました。(阿部杏圭)



活動報告をする大橋さん

河北新報普及センターから

お知らせ

やる気のもと。



高田 明
学び応援チーム
子ども、学力アップにお悩みのお母さん、お父さんへ
高田 明と学び応援チームが応援したい、やる気アップの「共有体験」とは
「やる気アップ」の共有体験とは
高田 明と学び応援チーム

▼教育セミナーで講演いただいている個別教室のアツプル代表・島山明氏と河北新報社販売部「学び応援チーム」が共著した「やる気のもと。」(A5判/176ページ/1,080円(税込)が好評発売中です。子育て中のご父兄の悩みを解決し、お子さまのやる気のもとを育てる内容となっております。

プレゼント企画

皆さんからのご意見、ご感想と情報提供をお待ちしております。8月号プレゼント企画として、河北新報×ベガルタ仙台コラボTシャツ(Mサイズ)を3名にプレゼント。住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだの感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で「KFCハナモモ通信プレゼント」係まで。(住所)〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-1-10(ファクス)227-8333

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp



▼メダルラッシュに沸いたリオデジャネイロオリンピック。興奮覚めやらぬ日本代表選手の活躍をこの1冊に「リオデジャネイロオリンピック保存版2016報道写真集(A4変型判/オールカラー/152ページ(予定)/日本人全選手写真付きプロフィール/種目別競技結果 閉会式直後発売 定価1,000円(税込)」予約受付中です。お問い合わせは、河北新報普及センター(島山)連絡先022-266-2991



ハナモモ通信
フェイスブック
QRコード